

## 2. 計画の基本骨子づくり

次に、施設の構成や規模など、計画の基本骨子づくりについてみてみよう。

### (1) 基本理念

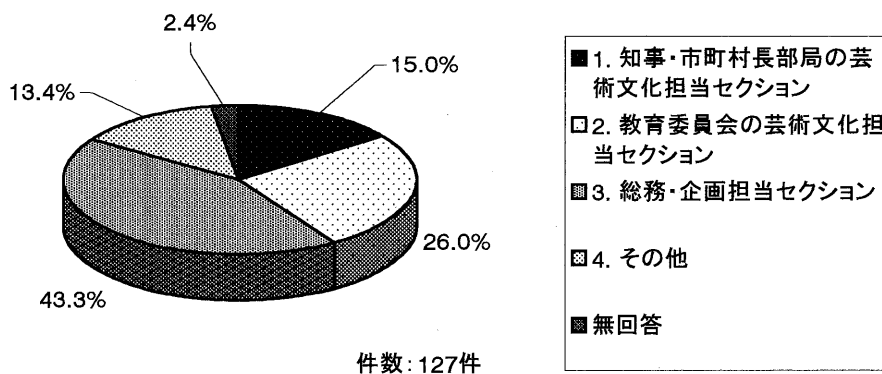
- 本アンケート調査では、フェイスシートの設問(F3)として、ホールの基本理念(設置の目的や基本的な考え方を定めたもの)の記入を依頼したが、回答結果をみると、施設整備の基本骨子を十分に表現できていないものもあった。
- 自由回答欄にも「何を目指すべきかがきちんと見えていることが大切。それができないと、ホールは何年たってもただの箱ものでしかない」といったコメントが寄せられており、基本理念や設置目的の明確化は、ホールの計画づくりにおいては重要と考えられる。

### (2) 担当部局、検討体制

#### ① 担当部局

- 調査や計画検討の担当部局は、「総務・企画担当セクション」が55件(43.3%)と最も多く、「教育委員会の芸術文化担当セクション」33件(26.0%)、「知事・市町村長部局の芸術文化担当セクション」19件(15.0%)と続く。
- 「その他」回答では、都市計画課など再開発担当セクション(4件)、準備室や推進委員会(4件)、教育委員会の社会教育担当セクション(3件)が複数回答となっている。

**Q3-1.** 計画の基本骨子が固まるまでの調査や計画検討の担当部局をお答えください。



#### ② 検討体制

- この段階での検討体制としては、「外部の専門家や庁内の関係者からなる委員会等を設置して検討した」が47件(37.0%)と最も多く、とくに都道府県立の施設では、7割で委員会が設置されている。
- 次いで、「都道府県・市町村の担当部局だけで対応した」20件(15.7%)、「『外部の専門機関に委託して調査や基本構想のとりまとめをおこなった』と『外部の専門家や庁内の関係者からなる委員会等を設置して検討した』の組み合わせ」18件